

穂別町立博物館館報

第10号

平成4(1992)年度

穂別町立博物館

目 次

沿		革	-----	1
施	設 の 概	要	-----	3
展	示 活	動	-----	4
収	蔵 資 料 概	要	-----	4
収	集 保 存 活	動	-----	5
調	査 研 究 活	動	-----	6
普	及 教 育 活	動	-----	8
運		営	-----	10

● 沿 革

昭和50(1975)年6月

穂別町字長和サヌシュベ川の枝沢において、荒木新太郎氏(穂別町:板金業)が化石骨のはいったノジュール(石灰質団球)を発見、一部採集。

昭和51(1976)年9月

佐藤昌人(苫小牧青少年センター)指導員・佐藤隆久(穂別町立仁和小学校)教諭が、荒木氏の発見した化石を撮影。長谷川善和(国立科学博物館)主任研究員に鑑定を依頼。

昭和52(1977)年2月

長谷川主任研究員の鑑定結果が北海道新聞で報道。白亜紀後期の海棲爬虫類の鱗状になった前・後肢いずれかの骨格の一部と確認。

昭和52(1977)年7月5～8日

穂別町首長竜化石発掘調査団、結成。発掘調査。

昭和53(1978)年5月

長頸竜化石クリーニング作業開始。(於:旧・穂別町立さくら保育所)

昭和53(1978)年11月

穂別町立郷土資料館、開館。(旧・穂別町立さくら保育所施設利用)

昭和54(1979)年3月5日

長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定。

昭和55(1980)年10月16日

穂別町郷土資料館建設計画検討委員会発足
北川芳男(北海道開拓記念館)学芸部長講話、「特色のある郷土博物館づくりとは」

昭和55(1980)年11月26日

建設の目的、設定。(次頁参照)

昭和56(1981)年1月27日

展示シナリオ原案提示

昭和56(1981)年3月13日

施設平面図提示。名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更。

昭和56(1981)年6月11日

穂別町郷土資料館建設計画検討委員会:展示班・資料収集班・図書班始動。特別協力員選出。

昭和57(1982)年3月11日

資料収集方針および収集計画決定

昭和57(1982)年2月10日

展示シナリオ最終決定。

昭和56(1981)年7月～12月

博物館施設建設工事行なわれる。

昭和56(1981)年9月1日

学芸員採用

昭和57(1982)年1月16日

長頸竜復元作業開始。

昭和57(1982)年3月～6月

博物館展示工事行なわれる。

昭和57(1982)年7月20日

博物館開館。一般公開開始。

昭和57(1982)年8月

第1回博物館協議会開催

昭和57(1982)年12月19日

長頸竜復元骨格展示公開

昭和58(1983)年6月

常設展。一部展示更新。

昭和59(1984)年2月

「よみがえるクビナガリュウ」村上隆著、発行。

昭和59(1984)年3月

穂別町立博物館研究報告刊行開始

穂別町立博物館館報刊行開始

平成2(1990)年6月27日

博物館協議会にて、平成3・4年度展示更新基本方針説明

平成4(1992)年2月1日

展示更新のため、休館に入る。

平成4(1992)年4月29日

展示更新完了、一般公開再開。

『特別展示の記録』

第1回:昭和57(1982)年12月19日

「よみがえるクビナガリュウ」開催

第2回:昭和60(1985)年11月1日

「北海道一億年」開催

第3回:昭和61(1986)年10月21日

「穂別の自然」開催

第4回:昭和62(1987)年7月28日

「アンモナイトの系図」開催

第5回:昭和63(1988)年8月23日

「穂別のカメ化石」開催

第6回:平成元(1989)年7月18日

「穂別のむかし」開催

第7回:平成2(1990)年8月18日

「戦争と穂別」開催

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。』

穂別町開基70年(町制施行20年)を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

〈平成3・4年度展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。』

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の1頁1頁であることを理解させる博物館とする。』

● 施設の概要

【位置】

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

【構造規模】

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建(本館)

建築面積： 1,232m²

(内 訳：単位m²)

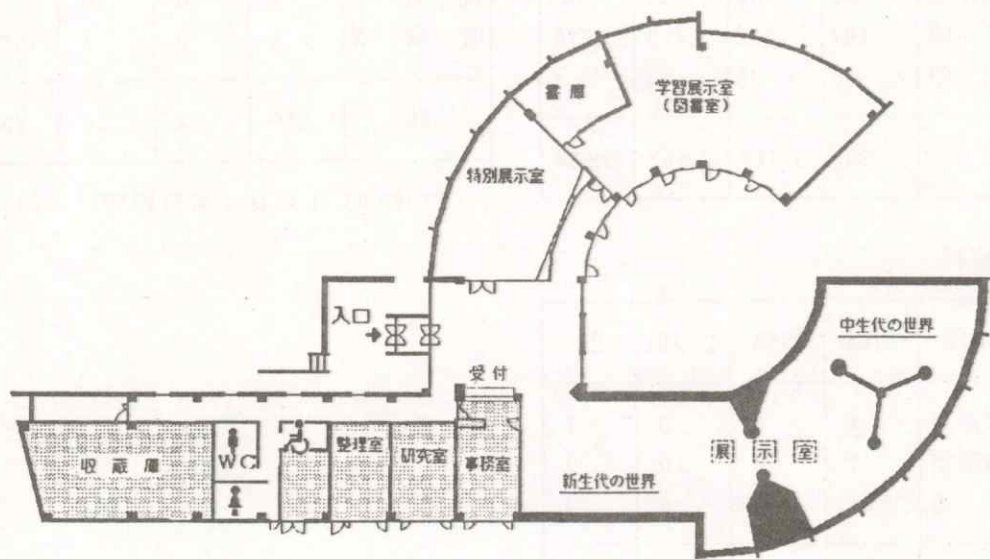
【工 期】 昭和56年度～57年度

【総事業費】 3億7,276万5,000円

この博物館は、国の公立社会教育施設整備事業および北海道市町村振興補助事業の補助を受け建設されたものである

用 途	面積	用 途	面積
常設展示室	372.88	事 務 室	40.50
第2展示室	99.37	研 究 室	31.50
第3展示室	32.40	整 理 室	29.92
特別展示室	99.08	学 習 展 示 室	184.75
収 蔵 庫	86.56	書 庫	35.05
		共 用 部 門	219.76

● 施設平面図



● 展示活動

I 特別展

常設展示更新残務整理のため、平成4年度の特別展は中止した。

II 常設展示更新

前年度から引き続いていた常設展示更新工事が完了、平成4(1992)年4月29日、一般公開を再開した。

● 収蔵資料概要

人文系資料

収蔵場所	生活	産業	その他	計
常設展示室	0	0	0	0
第二展示室	665	1,030	26	1,721
第三展示室	96	32	21	149
収蔵庫	107	252	1,419	1,778
貸出中	0	5	1	6
計	868	1,319	1,467	3,654

自然史系資料

収蔵場所	動物	植物	その他	計
常設展示室	176	2	19	197
整理室	33	0	0	33
貸出中	2	0	0	2
収蔵庫	648	2	5	655
計	859	4	24	887

(1992.03.31.現在；未登録資料は除く)

自然系資料

収蔵場所	動物	植物	その他	計
常設展示室	1	0	0	1
第二展示室	7	0	0	7
収蔵庫	46	23	0	69
計	54	23	0	77

● 収集保存活動

平成4(1992)年4月1日から平成5(1993)年3月31日までに寄贈・採集した資料を順に記した。(敬称略)

I 寄 贈

【人文系資料】 2件 2点

資料名	点数	寄贈者名
表 札	1	横山 正春
複写地図	1	山本 融定

【自然系資料】 2件 3点

資料名	点数	寄贈者名
テ ン	1	星 庄三郎
ハコエビ	2	山田 和彦

【自然史系資料】 16件 46点

資料名	点数	寄贈者名
巢穴化石	1	小林 亨
葉化石	1	河崎 元也
貝類化石	1	高橋 博志
貝類化石	3	中村 邦広
貝類化石	16	福岡教大地学
葉化石他	4	高橋 博志
アンモナイト他	8	阿部 利春
アンモナイト	1	高橋 博志
アンモナイト他	3	佐藤 稔
生痕化石	1	佐藤 稔
アンモナイト	1	佐藤 稔
貝類化石	1	佐藤 稔
含骨ノジュール	1	服部 義幸
アンモナイト	2	穂町博協力会
アンモナイト	1	高橋 博志
魚類	1	W.ノバック

II 採 集

【自然史系資料】

8月19日：化石標本	字稲里 (11点)
8月21日：化石標本	字稲里 (46点)
8月23日：化石標本	字富内 (7点)
	協力：千歳化石会
8月25日：化石標本	字稲里 (33点)
8月28日：化石標本	字穂別 (1点)
9月07日：化石標本	字平丘 (3点)
9月08日：化石標本	字平丘 (1点)
9月16日：化石標本	字稲里 (32点)
9月17日：化石標本	字長和 (26点)
9月22日：化石標本	字長和 (18点)
10月11日：化石標本	字稲里 (8点)
	協力：千歳化石会

III 寄 託

平成4(1992)年3月31日現在で寄託中の資料

【自然史系資料】

阿部 利春：	アンモナイト (1点)
石崎 正行：	アンモナイト (2点)

【人文系資料】

佐久間正雄：	郷土史資料 (2点)
--------	------------

● 調査研究活動

I 脊椎動物化石の研究

【総論】

鈴木 茂 (元穂別町立博物館学芸員)

公表論文:

[1984]穂別町博研報, (1):47-52.

地徳 力 (穂別町立博物館) 学芸員

[1990]穂別町博研報, (6):37-35.

【デスモスチルス】

木村方一 (北海道教育大学) 教授に研究委託

公表論文:

[1984]穂別町博研報, (1):11-23.

[1984]地団研専報, (28):51-61. (松井・山口氏と共著)

[1985]穂別町博研報, (2):51-62.

赤松守雄 (道開拓記念館) 学芸員に研究委託

公表論文:

[1984]地団研専報, (28):63-68.

【クジラ】

木村方一 (北海道教育大学) 教授に研究委託

一島啓人 (信州大学) 氏に研究委託

[1992]穂別町博研報, (9):37-44.

【ウミガメ】

平山 廉 (帝京技術科学大) 講師に研究委託

公表論文:

[1985]穂別町博研報, (2):17-30. (鈴木 茂氏と共著)

[1992]穂別町博研報, (8):17-57.

[1992]日本地質学会(99) (熊本) 口頭発表

[1993]日本地質学会(100) (東京) 口頭発表

【長頸竜】

中谷英夫 (香川大学) 助教授に研究委託

公表論文:

[1981]日本地質学会(88) (東京) 口頭発表

[1982]日本地質学会(89) (新潟) 口頭発表

[1982]動物と自然, 12, 11-16.

[1984]穂別町博研報, (1):37-40.

[1985]穂別町博研報, (2):43-49.

[1989]穂別町博研報, (5):43-48.

[1989]Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan, (154): 96-116.

【モササウルス】

鈴木 茂 (元穂別町立博物館学芸員) 氏が研究

公表論文:

[1985]穂別町博研報, (2):31-42.

[1985]地学団体研究会専報, (30):45-66.

地徳 力 (穂別町立博物館) 学芸員が研究

公表論文:

[1987]日本地質学会(94) (大阪) 口頭発表

[1990]日本地質学会(97) (富山) 口頭発表

[1990]日本地質学会道支部報, (1):45-46

[1991]穂別町博研報, (7):9-14. (紀藤典夫氏と共著)

【サメ】

久家直之, 京都大学大学院院生に研究委託

公表論文:

[1985]穂別町博研報, (1):33-36.

II 刊行物

【穂別町立博物館館報】

第9号, 13頁: 平成4(1992)年7月31日発行

【穂別町立博物館研究報告】

第9号, 44頁: 平成5(1993)年3月30日発行
著者及び論文題名

Matsumoto, T., Toshimitsu, S. and Noda,
M.: p.1-20, pls. I-IV.

On a Maastrichtian (Cretaceous) ino-
ceramid species *Sphenoceramus*
hetonai-anus (Matsumoto) from the
Hobetsu dis-trict, Hokkaido

長谷川卓・利光誠一: 21-28頁, 図版 I, II

穂別町安住地域における *Inoceramus*
(*Platyceramus*) *Japonicus* および浮遊性
微化石の産出層位関係

木村方一・鈴木茂・山下茂: 29-36頁, 図版
I, II

北海道沼田町の上白亜系からモササウ
ルス類と長頸竜化石の発見

一島啓人: 37-43頁

北海道穂別町滝の上層産出の化石イルカ

● 普及教育活動

I 博物館講座

【自然観察会】

実行事業無し

【化石クリーニング教室】

学芸補助員職未補充のため定期講座は閉講。
学校などの団体で要望があれば随時開講とした。

【学校週休二日制記念事業】

平成4(1992)年9月12日、学校週休二日制実施を記念して町民無料観覧を実施。以後、毎月第二土曜日を町内の児童生徒無料観覧の日とする。

II ホッピーだより (博物館広報)

【主な内容】

号外(平成4(1992)年8月)

「もうすぐ復刊＝博物館近況＝」

98号(平成5(1993)年1月)

「トリ・西・鳥の話」

99号(平成5(1993)年2月)

「化石が亡びる(その1)」

100号(平成5(1993)年3月)

「化石が亡びる(その2)」

III 穂別町立博物館ガイドブック

平成5(1993)年3月31日発行、49頁

【主な内容】

I 自然の仕組み

II 地球の歴史と生命の進化

III 穂別町地質構造発達史

IV その他

【穂別町教育研究会・理科サークル研修】

平成4(1992)年6月25日：館内研修(11名)

【穂別町教職員新任者研修】

平成4(1992)年7月3日：館内研修(32名)

【福岡教育大学地質学教室巡検】

平成4(1992)年7月20日：

穂別地域巡検指導(16名)

【氷の白亜紀・彫刻指導】

平成4(1992)年7月21日：

氷の白亜紀(穂別町)彫刻作成の指導

【トムソーヤクラブ指導】

平成4(1992)年7月23日：化石学習指導

平成4(1992)年7月24日：化石採集指導

平成4(1992)年7月26日：

化石クリーニング教室指導

【穂別町教育研究会・理科サークル巡検指導】

平成4(1992)年9月18日：

長頸竜化石産地巡検を指導(11名)

【穂別町教育研化石クリーニング教室指導】

平成4(1992)年11月5日：

化石クリーニング教室を指導(12名)

【千歳化石会「化石講演会」講師】

平成4(1992)年11月29日：

「化石の世界」について講演

【サウラ賞受賞式】

平成4(1992)年12月22日：

「サウラの意味」について解説

【町内教育・福祉団体の利用】

- 5月12日：町立穂別小学校（7名）
5月21日：町立穂別中学校（4名）
7月 8日：町立仁和小学校（16名）
2月 4日：町立富内小学校（34名）
9月29日：
 町豊和地区ことぶき学級（21名）
10月 3日：誠和学園（14名）
10月15日：
 町栄和地区ことぶき学級（32名）
10月18日：町稲里子供会（16名）
10月23日：
 町稲里地区ことぶき学級（16名）
2月 4日：町立富内小学校（34名）
1月13日：
 町農業協同組合婦人部（30名）

【町外教育・福祉団体の利用】

- 5月：
13日：白老東高等学校（169名）
13日：北海道大・理・地鉱教室（32名）
14日：駒沢大岩見沢高等学校（211名）
19日：えりも町立小学校（49名）
23日：門別愛光園（28名）
28日：苫小牧高等商業学校（197名）
6月：
5日：小樽市西陵中学校（123名）
9日：北海道平取高等学校（53名）
11日：厚真町ひまわり保育園（14名）
16日：北海道札幌平岸高等学校（468名）
17日：追分町立追分中学校（61名）
30日：静内町立静内小学校（68名）
7月：
2日：千歳市高星大学（40名）
2日：札幌市手稲西小学校（122名）
3日：夕張市立富野小学校（24名）
9日：札幌市立真駒内緑小学校（129名）

- 16日：札幌市立米里小学校（90名）
18日：山形大学地球科学科（33名）
19日：富良野東中学校（26名）
22日：鶴川町立二宮小学校（40名）
22日：由仁町立三川中学校（47名）
23日：札幌市立丘珠小学校（17名）
25日：厚真町豊沢子供会（30名）
25日：札幌市まきぼ子供会（39名）
29日：札幌厚別中央青少年育成委（92名）
30日：浦河町文化財少年団（24名）
30日：ドイツ・スポーツ少年団（9名）
8月：
1日：宇宙少年団大樹分団（23名）
7日：蘭越町少年団（23名）
9日：帝京技術科学大学地学教室（5名）
9日：厚真町北町子供会（17名）
25日：夕張教育研究協議会理科部会（7名）
9月：
3日：札幌市立旭小学校（63名）
6日：大滝村子供会（20名）
10日：厚真町みつぼ保育園（26名）
11日：浦河町立第二中学校（28名）
17日：北海道立音更高等学校（262名）
17日：北海道立江別高等学校（420名）
17日：羽幌町古生物研究会（9名）
25日：夕張市滝ノ上保育園（10名）
25日：北海道立美唄南高等学校（166名）
26日：白老町高齢者大学（28名）
10月：
1日：静内町立川合小学校（38名）
4日：富良野市扇町子供会（23名）
10日：札幌市真駒内養護学校（13名）
20日：札幌ふれあい大学厚友会（184名）

● 運 営

I おもなできごと

[平成4(1992)年度]

4月:

5~8日:学芸員,日本地質学会第99年
学術大会(熊本)に参加

9日:穂別町博物館協力会総会開催

11日:木村方一(北海道教育大)長頸竜研
究のため来館

23~25日:P.J.カリー(カナダ・アルバ
ータ州ティーレル古生物学博物館)来館.穂
別小学校にて特別講演

29日:平山廉(帝京技術科学大)講師来館
;常設展示再開

5月:

10~31日:常設展示町民無料観覧期間

27日:中川町職員化石クリーニング研修

29日:木村方一(北海道教育大)教授来館

29日:岡崎 毅(厚真町)学芸員来館

6月:

28日~7月2日:松本達郎(九州大学)
名誉教授,蟹江康光(横須賀市自然史博物館)
学芸員,利光誠一(地質調査所),野田雅之
(大分市)ほか2名来館

7月:

2日:カナダ・ケーシー米田夫妻来館

6,7日:常設展示調整(臨時休館)

27日:常設展示調整(展示表記・音響映像)

30日:ドイツ・スポーツ少年団来館

8月:

5日:常設展示調整(地質図パネル)

8日:常設展示調整(マルチスライド)

11日:弥永北海道博物館長弥永芳子氏来館

9月:

7,8日:町字富内にて,カメ化石発掘

11日:ノボシビリスク大学地質教室来館,
新井田清信(北海道大)講師随行

17日:羽幌町古生物研究会(9名)視察

10月:

22~24日:学芸員,北海道博物館協会学
芸職員研修会(上士幌)に参加

12月:

2日:鄭在吉(韓国金比大学)教授来館

3月:

11日:穂別地球体験館サイエンスガイド新
人研修

30日:博物館協議会開催

II 町外自治体などの視察

5月:

13日:足寄町教育委員会(35名)視察

24日:福島市役所職員,青年会議所職員
(17名)視察

6月:

24日:倶知安町教育委員会(8名)視察

7月:

2日:豊橋市議会議員(8名)視察

14日:京都府京北町職員(11名)視察

14日:羽幌町議会議員(14名)視察

8月:

6日:東京都板橋区教育委員(6名)視察

27日:中川町議会常任委員(8名)視察

25日:夕張市教育研究協議会(7名)視察

9月:

4日:檜山支庁議会事務局(7名)視察

17日:倶知安町議会議員(12名)視察

26日:石狩町教育委員会(12名)視察

10月:

- 20日：恵庭市教育委員会（4名）視察
 23日：胆振管内市町村長（8名）視察
 11月：
 21日：愛知県新城市職員（2名）視察
 27日：足寄町教委文化財委員（5名）視察
 29日：様似町教育委員（7名）視察
 2月：
 8日：道有林所在市町村長（15名）視察

Ⅲ 組織



職員名簿（平成5（1993）年3月31日現在）

館長 佐藤 稔
 庶務係 佐藤 貞子
 学芸員 地徳 力

博物館協議会委員

（平成5（1993）年3月31日現在）

会長 久保田 瑞 真
 副会長 荒 木 新太郎
 委員 村 上 隆
 委員 小石川 武 美
 委員 津 野 昇
 委員 大久保 文 夫
 委員 藤 江 保 徳

（平成6（1994）年7月31日まで）

Ⅳ 利用状況

【常設展示観覧者】

平成4（1992）年4月～平成5（1993）年3月

月	一 般	学 生	計	開館日
4	380	197	577	1
5	5,942	3,015	8,957	25
6	1,550	992	2,542	24
7	2,756	1,514	4,270	26
8	4,403	2,537	6,940	26
9	1,932	1,427	3,359	23
10	1,754	356	2,110	25
11	893	268	1,161	23
12	140	66	206	22
1	144	48	192	20
2	86	17	103	22
3	285	113	398	23
計	20,265	10,550	30,815	260

Ⅴ 平成4年度予算

（単位：千円）

費 目	予 算
報 酬	77
共 済 費	193
賃 借 金	3,181
報 償 費	371
旅 費	389
需 用 費	7,173
役 務 費	445
委 託 料	8,380
使用料及び賃借料	860
工 事 請 負 費	17,910
原 材 料 費	150
備 品 購 入 費	1,880
負担金補助及び交付金	160
博物館 費合計	41,709

需用費細目	7,173
消耗品費	879
燃料費	1,001
食糧費	96
印刷製本費	987
光熱水費	2,658
修繕費	200

役務費細目	445
通信運搬費	310
手数	70
保険料	65

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分

【休館日】

月曜日・祝日の翌日・毎月月末・
年末年始（12月30日～1月6日）

【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円

注：未就学児童は無料（要大人の付添い）

* 学生：小中学生・高校生

** 団体：10人以上

【減 免】

「(穂別町立)博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない(穂別町立博物館設置条例,第6条)」が「(穂別町)教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる(同条例,第7号)」。減免は、教育・研究・福祉を主な目的とし、以下に従う。

穂別町立博物館施行規則 第6条：

条例第7条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

(教育目的)

1) 穂別町立小学校及び中学校が教育計画のため入館する場合

(研究目的)

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合

(福祉目的)

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第14条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合
4) 精神薄弱者福祉法(昭和35年法律第144号)第18条に規定する町内の精神薄弱者福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に教育長が必要と認める場合

穂別町立博物館館報

第10号

平成4(1992)年度

発行 1993年7月31日

発行者 穂別町立博物館

〒054-02

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

TEL(01454) 5-3141

